

※本誌に掲載している情報は、一部インターネットなどに掲載されている文献をもとに編集しておりますので、地域・風習等により異なる場合がございます。



外人墓地から函館湾を望む



学生による引揚者援護活動(道新旧蔵写真) 函館市史より



## あなたのふるさと紹介

北海道函館市

夜の函館港から函館山を望む

函館は坂が多いことでも有名です。港へ向かって数多くの坂があり、そのひとつひとつに名前がついていました。今ではそのすべては思い出すことができません。

西部の船見坂、ときわ坂、二十間坂等ありますが、一番はずれの船見町あたりの坂をすーっと登り詰めたところにあつた外人墓地も忘れられません。

その頃の私には珍しい十字架がたくさん立っていて、生まれた国から遠く離れた、

現在のは札幌市にお住まいの星野様から、終戦直後お住まいになっていた函館市の思い出を綴られたお便りを頂きました。

私の第二のふるさとは新幹線開通で脚光を浴びた北海道の入口に続く港町函館です。

百歳まであと約十年という、今更のようにつづりつづりたまたげた年齢まで生きた自分の人生が、火花が上がったように、目の前に華々しく浮かんできます。もう何十年も訪れることがなかったふるさとはずいっと遠くにありましたのにな……

昭和十九年、あと二年で卒業という時、同じく北海道の小樽で生まれた育った私が、父の仕事の都合で、函館の女学校に転校しました。

函館の西部には当時巨大なドックがあり、終戦後樺太からの引き揚げ船が入港する拠点となっておりまして。

引揚援護局のお手伝いをする人は腕章をつけた若い大学生の男女が多く、一生懸命お手伝いする姿を見るたびに胸を打たれたものでした。

船が入るたび「おかえりなさい、ご苦労さん」という唄が拡声器から流れ、大きな荷物を身体が見えなくなるくらい背負い、子供さんの手を引いた人が、ほっとした顔で続々と降りてくるのでした。毎日繰り返し返される涙の再会、無事を喜びあう人々で溢れた港は今思い出しても胸が熱くなります。

星野様、お手紙ありがとうございます。七十年以上も前のご記憶ながらも、多感な少女時代の思い出の瑞々しさが、いきいきと伝わる文面に感動いたしました。その頃の写真が残っていないかと函館市中央図書館の方のお力を借り、引揚援護局の手伝いをしてる学生の写真を見つけてました。また拡声器から流れていたという歌についても調べてみました。こちらははつきりこれだというのを見つけたことはできませんでした。た昭和二十一年には、引揚者の心情を歌った「かえり船」という田端義夫の歌が累計百八十万枚となるヒットとなっています。他にも引揚者の方々の気持ちをうたわるような歌があつたんだろうなと思います。

そして、函館市に行つて参りました。日本三大夜景にあげられるだけあって、夜の街の美しさも格別。港と金森赤レンガ倉庫を夜撮影してみました。外人墓地、路面電車、いくつもの坂に導かれ、あちこちと歩き回つてしまふ街：函館の魅力はつきまっています。

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

今回のふるさと大変素晴らしいところでした。皆様のふるさと自慢をお聞かせください。お便りをお待ち申し上げます。

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆



懐かしいデザインの路面電車



新鮮さが売りのいかそうめん



ハリストス正教会



入船港に停泊中のいか釣り船



金森赤レンガ倉庫



八幡坂

あなたのふるさとを皆様にご紹介してみませんか？

皆様の故郷や第二の故郷の、おいしい食べ物・素晴らしい歴史などをお聞かせください。ちょっとしたお便りでもあなたの思い出が伝わり、多くの人に知ってもらい、あなたの故郷を皆様に紹介していただければ幸いです。応募先：〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-3-16 2F 株式会社フォトサービス 全日本ニュース係宛

応募先  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-3-16 2F  
株式会社フォトサービス 全日本ニュース係宛

## 温泉雑学 砂風呂特集

300年もの昔から湯治に訪れる人々に愛されてきた「砂風呂」。その効能は最近になって医学的な説明がなされるようになってきました。今回はそんな、じんわり熱い「砂風呂」の特集です。



指宿市役所観光課提供

### 指宿(いぶすき)温泉「砂むし会館 砂楽~さらく~」(鹿児島県指宿市)

最初にご紹介するのは、砂むしといえばやはり指宿、その中でも最大の温泉立ち寄り施設の「砂むし会館 砂楽~さらく~」です。世界的にも珍しい天然砂むし温泉は、海岸に自然湧出する豊富な温泉を利用しています。大潮の干潮時には波打ち際で、満潮時や天候の悪い日は屋根付の砂むし場で砂浴が可能。砂の温かさに加え波の音が、心も体も和ませてくれます。砂むし湯治は古くから行われており、天保14年に編纂された「三国名勝図会」にも高い効能が記されていますが、鹿児島大学医学部の調査によると、砂むしに入ると心拍数が増え、体の深い所の体温が上がるなどの効果があることが判りました。血循環を進めることによって老廃物の排出や炎症性・発痛性物質を洗い出し、十分な酸素栄養を供給することによって人の体をリフレッシュさせます。その効果は普通の温泉のなんと3~4倍とのこと。

### 伊豆熱川温泉「玉翠館」静岡県賀茂郡

次は「伊豆唯一の砂風呂」といわれる伊豆熱川温泉の「玉翠館」です。檜作りの部屋に砂が敷き詰められ、部屋の下を流れている天然温泉によって温められているというスタイル。熟練の湯守の方によっていねいに温度管理されています。身体の芯から温まり、肌もつるつるになるという評判です。粒の大きい川の砂を使用しているため、マッサージ効果も期待できて、終わった後の砂落としもとても楽。また、湯守りの方のトークが、おもしろいと、大人気の様です。



### 昼神温泉「清風苑」長野県下伊那郡

最後にご紹介するのは、長野県の昼神温泉「清風苑」。広い室内に敷き詰められたのは、西オーストラリア・パース産の砂とメキシコ産の原塩をブレンドし、抗菌・脱臭作用を施した特製「砂塩」。床下から温泉と電気を使って、適温に保っています。遠赤外線効果で体の芯から温め、砂塩から発生するマイナスイオンでリラックス効果・免疫力アップも図れます。肩こりや腰痛、冷え性・ダイエット・婦人病・アトピーなどにも効果が期待できるとのこと。また、砂塩に含まれる原塩、ミネラルにより肌がすべすべになり、髪の毛のトリートメント効果まであるといわれています。

砂風呂は汗をかき、デトックス効果がある反面、のぼせや脱水症状の心配も否めません。当日の身体のコンディションをよく見極め、水分を充分とるなど、予防措置もした上で楽しむのが大人の楽しみ方。さて、どの砂風呂をお試しになりたいですか？

## こねぬきポンポコの「魔法のつえがすごいポコ!!」の巻

作/つきのしずく 絵/恋林あやこ



### オヒシバのとんとんずもう

材料 ◆オヒシバ2本 ◆紙箱(A4サイズくらいのもの) ◆マジックペン ◆はさみ

- 紙箱の中央に土俵となる丸を大きくペンで描きます
- オヒシバの種の付け根を切り、種先は土俵に立つように切りそろえます。
- 土俵の上に、種先が下になるようオヒシバかさをのせたら、はっけよい、のこった!

### メヒシバのかんざし(魔法のつえ?)

材料◆メヒシバ1本

オヒシバは種と茎が太い  
メヒシバは種と茎が細いポコ

- メヒシバから種を1本抜き取ります。
- 残りの種を下方方向に丸く曲げて茎のところをひとまどめにして①の種で結ぶとできあがり!